



長岡版

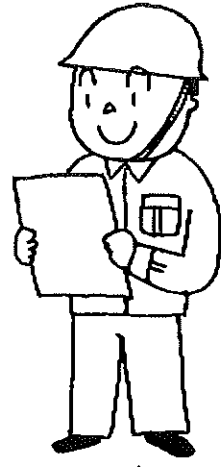
発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2016年
10月17日
第1832号

「記帳と決算」「税務調査」「仕事と労災保険」「景気動向」 支部や班で集まり、みんなで話し合おう

配布の新聞を取りにぞとして 会費を払いに来所の会員さん

中央支部・西長岡支部・関原支部・北支部と、商工新聞配布当番、役員さんが商工新聞を取りに、そして「会費集金が大変だろう」と、会費を届けてくれる会員さんが、事務所を訪問してくれています。



30代の建設業の会員さん「仕事をしています。生活が苦しい。納期は短くて、工事単価は下げられている。仕事をもらっている会社も大変で、必死に営業しているのが分かるから文句もいえないけど、先行きが不安です。ただ家族のために頑張るしかないです」。

電信工事業者の会員さんの奥さん「通信等の切り替え工事で、忙しい時は休みも返上で仕事してきて、突然仕事量が激減しました。何の保証も無い私たちが業者は使い捨てみたいなんです」。



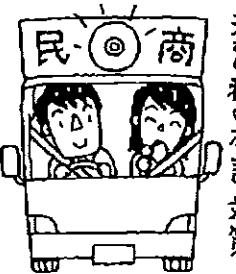
設備業の会社経営の50代の会員さんは「秋から冬にかけて予定していた工事が突然中止になって途方にくれています。今まで一緒に頑張っていた従業員に辞めてもらうわけにもいかず、これからどうしようかと悩んでいます」。

業者の大変さやこれからの事を、業者同士・会員同士で話し合います。

新潟県連主催(ユニゾンプラザ)事務局員交流会に参加

10月4日新潟市のユニゾンプラザで行われた、新潟県連主催の「事務局員交流会」に参加して来ました。民商の『基本方向』などをもとに、民商とは、民商運動の原点は、事務局の役割などについて学習し、新発田民商事務局員を講師に『申請型換価の猶予』の申請実務なども学習しました。

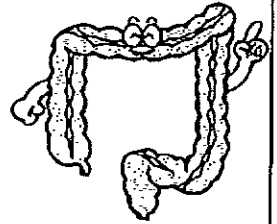
午後からは4つに分かれて分散会を行い、それぞれの民商が抱えている悩みや、これからの取り組み、秋の運動のかまえなどを意見交換 消費税の相談対策 しました。日ごろ県下の民商事務局の状況や頑張りや直接聞くことができて、あらためて民商運動のすばらしさを確認しあいました。



消費税の相談

全会員・家族・従業員対象の「大腸がん検査」 便を指定の容器にチャット取ってもらうだけ

11月6・7日に回収予定の大腸がん検査。毎年200人以上の方々が受けていただいています。



食の欧米化で、日本人に増えていると言われている「大腸がん」ですが、自覚症状がなく手遅れになると、命をも脅かしかねません。しかし、早期に発見できれば内視鏡などで除去できて、入院などをする必要もなく対処できます。

民商では会員はもちろん、家族・従業員も、みんなで「大腸がん検査を」と取り組んでいます。申し込みは電話でもできますので、役員・事務所